

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年3月18日

【評価実施概要】

事業所番号	270500390		
法人名	株式会社大五舎		
事業所名	グループホームひまわり2		
所在地 (電話番号)	〒037-0061 青森県五所川原市雑田141-7 (電話) 0173-34-5346		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成20年1月16日	評価確定日	平成20年3月18日

【情報提供票より】(平成19年12月10日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)14年11月16日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	7 人
職員数	7 人	常勤	2人, 非常勤 5人, 常勤換算 4.8人

(2) 建物概要

建物構造	木造モルタル 造り		
	2階建ての 1階 ~ 2階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	9,000 円	その他の経費(月額)	6,000~冬期12,000 円
敷金	有() 円 (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 円	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,000円		

(4) 利用者の概要(12月10日現在)

利用者人数	7 名	男性	0 名	女性	7 名
要介護1	4 名	要介護2			
要介護3	1 名	要介護4			
要介護5	2 名	要支援2			
年齢	平均 80 歳	最低	69 歳	最高	93 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人守生会 中村整形外科医院
---------	------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

市の中心部より一步入り込んだ住宅街にあり、職員は理念を基に利用者一人ひとりの意思を尊重し、生活に楽しみを見出せるよう関わりを大事にし、支援している。家族的な暖かさが感じられ、利用者も表情が良く、職員との信頼関係が築かれている。又、認知症の相談を受け付けるポスターを玄関前に貼り、事業所の理解や地域への還元に取り組み貢献している。
--

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	段差解消については、必要と思われるところを改修したり、段差部分にテープを貼るなどして注意を促したりしている。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	運営者、全職員で評価に取り組む事により、サービスの質の向上に活かす事ができた。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議の意義を理解してもらい自己評価、外部評価の説明、報告、意見交換をしサービスの質の向上につなげている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10,11)
	事業所内に苦情受け付窓口を明示し、家族の面会時はスタッフから話しかけをしている。又、出された意見等はすぐケアに反映させている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	日頃から地域と関わる働きかけをし、クリスマス行事の案内を出したり、町内会の会合等に参加している。又、認知症に関する相談を受け付けるポスターを貼り、実践経験を活かした相談、援助等を地域に還元している。

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	2年前に職員全員で作りあげた理念を地域との関わりを大切にするために、12月に見直しをし「地域住民の一人として」を加え、取り組みをしている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	申し送り時や介護計画会議の折りに、話し合いや確認をして、取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	ホームのクリスマス会の案内を地域の方へ出したり、町内の会合に参加をし、地域との付き合いを大事にしている。又、認知症に関する相談を受け付けるポスターを貼り、施設資源や専門職としての実践経験を活かした相談、援助等地域に還元している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>運営者、全職員で評価に仕組み理解する事で、サービスの質の向上に活かしている。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>参加者に意義を理解し、出席してもらうよう取り組んでいる。会議では外部評価や自己評価について詳しく説明、報告し、意見交換によりサービスの質の向上に活かしている。</p>		<p>出席者のより積極的な参加と会議内容の充実にむけた取り組みを期待したい。</p>
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市町村へホームのパンフレットや広報紙を配布したり評価の結果や運営推進会議報告書を送付し、現場の実情を伝える機会を作っている。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>必要に応じて利用者、家族には内容を説明し、支援体制を確立している。職員も外部研修や内部研修を通して理解している。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>職員は日々のケアの中で虐待が起きていないか注意して未然防止に努めている。虐待防止マニュアルも整備されており、職員は研修を通して万全な体制に努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時は十分な説明を行っており、退去の際は不安のないよう、退去先の情報を提供したり、理解、納得に努めている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>毎月ホーム便りで暮らしぶりや健康状態、受診状況、金銭管理等の報告をしている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>毎月家族へ送付しているホーム便りに相談、苦情コーナーがあり、気軽に相談がし易いように取り組んでいる。意見や苦情はすぐ日々のケアに反映させている。</p>		<p>苦情受け付窓口を明示されているが家族が意見を提出しやすいように、投書箱に類似する物等の、取り組みに期待したい。</p>
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動は基本的にしないという事になっているが、やむを得ない場合には、利用者には十分説明し、新しく引き継ぐ職員には詳細を伝えて利用者の影響を最小限にする努力がなされている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員は年2回以上の外部研修に参加し、報告書作成と共に伝達研修をし、ケアサービスの向上に活かしている。		
14	18	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他法人との交流の機会を持ち、利用者と共に参加している。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居者、家族の意向に沿ったサービスになるよう十分に話し合いをし、支援している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者の得意分野を發揮してもらいながら、共に学ぶべき所は学ぶという関わりを大事にしている。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者の思いや意向を日々の関わりの中で、家族と話し合う等して意向の把握に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人の視点に立ち職員、家族、関わりのある方等の意見を反映し、介護計画を作成している。		
19	34	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月に一度の見直しが行われている。状態が変化した場合は随時見直しが行われている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者が重度化した場合や終末期に伴う本人、家族の希望や意向等に対応する用意ができています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>事業所のかかりつけ医の他に、入居前からのかかりつけ医の通院介助を行い、家族へは受診結果を報告し、支援している。</p>		
22	44	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>重度化や終末期についての取り決めが整っており、利用者、家族との話し合いが行われている。終末期に向けての文書が作成され、同意を得ている家族もいる。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>利用者一人ひとりの声がけを大切にしている。記録物等は人目のつく所には置かれておらず、個人情報の取り扱いに細心の注意を払っている。</p>		
24	49	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>利用者一人ひとりのペースに合わせて散歩、調理、掃除、新聞たたみ等を支援している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>利用者、職員が共に準備をし、全員で食事を摂り、後片付けをしている。食事が楽しみなものになるように、毎日の献立に利用者の意見を取り入れている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>週3回の入浴が行われ、利用者の入浴習慣や意向を取り入れている。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>花や野菜を植えて、育てて行く楽しみや趣味の習い物や、全員でのり八ビリ体操、職員と共に行う色々な作業等支援している。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>利用者の希望で墓参りや自宅を尋ねたり、ドライブや近くの農業高校へ花の観賞に行く等、戸外に出かける支援が行われている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束はしておらず、やむを得ず行う場合はその理由、方法、期間、経過観察等について記録を残す体制がとられている。</p>		
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>日中は鍵をかけておらず、無断外出に備え、近隣からの協力が得られるよう働きかけをしている。</p>		
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>年2回、職員、利用者が避難訓練を行い近所の住民には協力が得られるよう、働きかけを行っている。</p>		<p>部分訓練として、消火器の使用方法や、夜間を想定した避難訓練の取り組みに期待したい。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事摂取量は毎日、個人記録に記載され、水分摂取はおやつ時やそれ以外で摂れるよう準備がしている。</p>		
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>マニュアルに沿って、取り決めがされている。</p>		<p>インフルエンザ、MRSA、疥癬などのマニュアルの整備も望まれる。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>					
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>普通の住宅であり、玄関には生け花が飾られている。居間は利用者、職員がくつろげる広さがあり、テレビを見たり、新聞たたみ等をし、居心地良く過ごす支援が行われている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>仏壇や小タンス、身に付けている着物や衣服、使い慣れた小物などが置き活かされている。居心地よく過ごせるよう、温湿度計が設置されている。</p>		

 は、重点項目。